

4 / 8月  
新刊のご案内!

ご注文は JRC へ  
FAX 03-3294-2177

発行元：株式会社ユニコ舎 TEL：03-6670-7340 FAX：03-4296-6819

辛苦の声が今よみがえる！遙かなる草原からの叫び!!



## 流れ星のかなた

葛根廟事件からの生還

大島満吉 著

四六判 / ソフトカバー / 本文 382 頁

定価：1,980 円 (本体 1,800 円 + 税)

ISBN978-4-911042-05-2

1945 (昭和 20) 年 8 月 14 日、昭和天皇が終戦の詔勅を読み上げる前日に、その衝撃的な事件は起こった。

日ソ中立条約を一方向的に破棄してソ連軍が侵攻。旧満洲国興安綏省の葛根廟付近において日本人避難民千数百人に襲いかかる。大殺戮のあと、生き残った避難民は自決を強要され、その後の地元民の暴徒やソ連兵の襲撃で、生存者はのちに発見された残留孤児を含めても百数十人に過ぎない。

凄惨な事件に遭った 6 人家族の大島家だが、奇跡的に 5 名が生還を果たす。

その日、ラマ教寺院のある葛根廟の大地でなにが起こったのか——。当時、11 歳だった大島家の次男・満吉が事件を振り返る。

婦人たちが叫んでいたほうに向けて、ソ連兵は発砲した。タダタダ、タダタダ！ 直撃された集団の人たちはばたばたと倒れていった。

銃弾の音だけではなく、ブスッ、ブスッ、ブスッと肉体に弾が食い込む音までまじる。血飛沫が上がる肉体、弾が当たるたびに跳びはねる身体、助けを求めようとして蠢く人、殴りつけるような異常な物音……。

もはや、この世の出来事ではない。阿鼻叫喚の声にぞっとする。止まぬ銃声。目をつぶり耳を塞ぐしかない。息もできないほど身体が硬直している。また人の気配がする。恐ろしい。怖い！



[本文抜粋]

この事件を知る日本人は 1 パーセントもないのが実情です。生き残ったものとしてこの事件を風化させてはいけません。後世に伝えるのが私の使命だと信じてきました。戦争は私たちの身のまわりにあるすべてを奪ってしまいます。故郷、財産、文化財、耕地、ペット、家屋、職場、記念品、写真、家具、橋や鉄道……そして親兄弟。失われたものは再生できないもの、二度と取り戻せないものも数多くあります。そして敗戦ともなれば戦後の混乱の中で衣食住に窮するのです。どうかこの本から戦争の虚しさを読みとっていただきたい。平和な日本が長く続くよう願ってやみません。(大島満吉)

番線印	ご担当	ご注文	発行：ユニコ舎
	様	冊	<b>流れ星のかなた 葛根廟事件からの生還</b> 大島満吉著 定価：1,980 円 (本体 1,800 円 + 税) [新刊] 978-4-911042-05-2 四六判 / ソフトカバー / 382 頁 (本文)

※株式会社 JRC 経由で、すべての取次への出荷が可能です。返品は長期に承ります